

歴史を

忘れては
いけない

外国駐在の中国使節が日本首相の
靖国神社参拝に対する反駁文集



五洲伝播出版社

歴史を忘れてはいけない

—外国駐在の中国使節が日本首相の靖国神社
参拝に対する反駁文集—



五洲伝播出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

历史不容忘记：中国驻外使节批驳日本首相参拜靖国神社文集：日文 / 程永华等编著；刘斌华，向海霞，杨文帛译. —北京：五洲传播出版社，2014.11

ISBN 978-7-5085-2888-5

I. ①历… II. ①程… ②刘… ③向… ④杨… III. ①侵华事件—日本—文集—日文②军国主义—日本—文集—日文 IV. ①K265.607-53②D731.31-53

中国版本图书馆CIP数据核字 (2014) 第214675号

历史不容忘记——中国驻外使节批驳日本首相参拜靖国神社文集 (日文)

编 者 程永华等
出 版 人 荆孝敏
译 者 刘斌华 向海霞 杨文帛
责任编辑 黄金敏
助理编辑 董 智
装帧设计 北京翰墨坊广告有限公司
封面设计 八度出版服务机构
出版发行 五洲传播出版社
地 址 北京市海淀区北三环中路 31 号生产力大楼 B 座 7 层
邮政编码 100088
电 话 010-82005927 82007837 (发行部)
网 址 www.cicc.org.cn
印 刷 北京圣彩虹科技有限公司
开 本 787mm × 1092mm 1/16
印 张 10.75
字 数 130 千字
版 次 2014 年 11 月第 1 版第 1 次印刷
定 价 118.00 元

出版前言

2013年12月26日に日本首相安倍晋三は公然と靖国神社を参拝した。2014年4月21日に靖国神社にて三日間の春季大祭イベントが行われ、首相の安倍晋三および数名内閣メンバーとも供物を供えた。安倍政府は軍国主義の復活を企み、公然と第二次世界大戦後の国際秩序を挑戦し、国際社会に厳しく非難された。靖国神社問題は再び国際世論の焦点として注目されておる。

靖国神社は東条英機を含めた十四名の第二次世界大戦でA級戦犯が祀られ、第二次世界大戦時期に日本軍国主義が外部へ侵略拡張の象徴である。日本が靖国神社に対する扱う態度により日本が侵略歴史を正しく認識し、深刻反省されるかに関わる。日本の政府要人が靖国神社を参拝することに対し、アジア各国民が極度に憎んでおり、「悪霊が祀られている」と責められる。安倍が靖国神社を参拝する行為が日本軍国主義に侵略され、殖民支配された各国の人民に酷く傷をつけた。その正義にもとり時勢に逆行する行為では、アジア各国と国際社会が日本未来の発展方向に対する高度警戒と強烈的な心配が引き起こされた。

安倍参拝の劣悪行為に有力な反撃を与え、日本右翼が軍事主義殖民侵略歴史を美化する恐ろしい企みを明るみに出し、歴史の真相を打ち明け、世界世論が中国およびほかの被害国に対する応援を勝ち取る為に、外国駐在の中国使節が続々と撰文し、現地の主流メディアに中国の立場を表明した。これらの文書は国際社会に靖国神社の問題の本質、中日両国間歴史問題の根源を揭示し、安倍参拝の本質および右傾した政策がアジア太平洋地域、世界平和と安全を脅かすことを明るくに出し、安倍を始めの日本右翼勢力に歴史の正視させ、挑発を止め、軍国主義を捨て去ることを促す。われわれは中国使節が日本首相の靖国神社参拝行為を反駁した60篇ほどの文書を整理し、本に編集し、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語、アラビア語、日本語などの七種の文字にて出版し発行する。

編集者

2014年6月

カタログ

「不戦の誓い」は場所が違う	1
危険な極端崇拝	3
歴史正視を拒否する日本は必ずアジア及ぶ世界平和を脅かす	6
侵略歴史の反省を反抗する日本は必ず世界平和への重大な脅 威になる.....	9
中国は日本首相が靖国神社を参拝することに怒り満々はなぜか.....	12
日本とドイツ:異なる歴史観	14
平和を深く傷つける日本	17
平和は「低く垂れている実」じゃない	19
安倍の靖国神社参拝に三つの問い.....	21
アジア平和と安定に発展する大局をしっかり守る.....	23
日本その国は必ず侵略戦争を猛省しなさい	25
日本首相が靖国神社を参拝することこそは「東方ナチ」への最高崇拝.....	27
『青い蓮』をよんだ?	29
日本の指導者は今まで戦争犯罪行為をちっとも承認しない	32
歴史の流れと逆行する日本を絶対に許せない.....	35
歴史を正視さえすれば、未来に向かえる.....	37

警戒:日本の指導者は日本をどんな道へ引率するつもり?	43
歴史を正確に対処し、美しい未来を共に作ろう	47
歴史を忘れるのは歴史を裏切るとのことだ	49
大殺戮の歴史が再演することを必死に阻止する	51
戦後国際秩序を挑戦する振る舞いは止まれ	55
歴史を覆すのは許せない	59
安倍が日本の侵略戦争を覆す行為は絶対に許せない	62
国際大殺戮記念日への参加をきっかけに思いついた事	64
容赦と忘却は等しくない	66
反ファシスト戦争の勝利成果を抹殺するのは許せない	69
侵略歴史を改竄するのは容赦できない	71
日本は二戦3500万の中国被害者にまだ一つの事残り:謝罪	74
承諾と現実のギャップ	76
日本の戦争犯罪者が名分が永遠に正されない	79
第二次世界大戦の勝利で得た成果と戦後の秩序が犯されるのを 許せない	81
安倍が「鬼拝み」なら人心を失う	83

世界の平和を踏みにじるのは許せない.....	85
羞恥知り、是非弁え、正道行き.....	88
日本は危ない方向へ向かっている.....	90
中国政府と人民が日本首相の靖国神社参拝の時流に逆行する	
醜い行為をきっぱりと反対する.....	92
反人類的犯罪行為は参拝されるべきでない.....	95
日本の侵略歴史を翻ることに許さない.....	97
日本が勝手に挑発して腹黒い魂胆を隠す.....	99
歴史を正視してこそ、未来が開ける.....	102
日本軍国主義の復活を警戒する.....	104
中国大使は日本の安倍首相が靖国神社を参拝する行為を非難する.....	106
正しく歴史を対処してこそ、未来が開ける.....	107
態度によって結果が異なる.....	109
戦争の惨禍は忘れてはならない、侵略の歴史は翻してはならない.....	111
安倍の参拝は皆の怒りを引き起こし、軍国亡霊は前途を阻む.....	114
安倍の靖国神社参拝は忍ぶに忍べない.....	116
日本政府は何をしたい？.....	120

国際社会はなぜ日本首相が靖国神社を参拝に反対するか.....	123
決して日本に歴史の流れに逆行させない	125
二つの国、二つの侵略歴史に対する態度.....	127
平和を妨害する参拝	129
安倍の日本軍国主義を復活する行為が道義上許されない	131
悪行を重ねた者は必ず恥辱の柱に釘付けにされる.....	133
日本右翼勢力は切り立った崖に至って馬を引き止めるべきだ.....	136
残した苦い行為.....	139
歴史は最高な教科書	142
レニングラード解放70周年を記念し、ファシズムが息を吹き返す のを警戒する.....	144
歴史は忘れてはならない.....	147
歴史を再演させない.....	152
歴史の転覆を許さない、アラームは誰の為に鳴る	154
歴史の流れに逆行する者は必ず失敗に終わるに間違いない	157
安倍の冒険行動に警戒心を高めるべきだ	161

「不戦の誓い」は場所が違う

駐日中国大使 程永華

日本を代表する政府の指導者が第二次世界大戦のA級戦犯を祀る靖国神社を参拝することは過去の戦争に対する認識と姿勢にかかわり、戦後の中日関係の回復と発展の政治基盤にかかわり、第二次大戦の広範な被害国人民の感情にかかわり、日本の今後の進む方向にかかわるものである。これ自体が政治、外交問題である。

中国は一貫して日本軍国主義者と日本人民を区別し、戦犯と一般兵士を区別して考え、日本軍国主義が発動した戦争で中国人民は甚大な災難に遭い、日本人民も深く害を受け、あの戦争の責任は一握りの軍国主義者が負うべきだと考えている。ポツダム宣言と極東軍事法廷の裁判を受け入れたことが日本の戦後の再生の前提であり、日本政府は約束を守り、A級戦犯の戦争責任問題に対し明確に責任ある姿勢をとるべきだ。われわれは一般市民が自らの親族を弔うことに異議はないが、日本の指導者の参拝は侵略戦争の性格と責任に対する認識にかかわるもので、中国は絶対に受け入れることはできない。

日本に自らの死生観、宗教観があるのはいいが、それを日本の指導者がA級戦犯を含むいわゆる「英霊」を参拝する理由にすることはできない。A級戦犯も死ねば尊崇に値する「英霊」になるとでもいうのだろうか。生前の犯罪行為と戦争責任も帳消しになるというのだろうか。人にはみな最低限の善悪と是非の観念があり、それは宗教や文化とは関係がない。われわれはドイツの政治家が自らの独特の死生観、宗教観を理由にヒトラーを含む戦争狂が死をもって罪をあがなったとして、墓を建て参拝したといったことは聞いたことがない。

安倍首相は参拝後の談話で、「不戦の誓い」を堅持していくとし、参拝は過去の歴史の反省の上に立ったものだと言った。靖国神社での「不戦の誓い」というのは場所を間違えており、世界の良識ある人にも強い反感と疑念を抱かせた。靖国神社は戦前、日本軍国主義の対外侵略の精神的柱であり、現在もA級戦犯を祀っているだけでなく、侵略戦争を躍起になって美化、わい曲し、現在の

国際世論とはまったく相容れない間違った歴史観を宣揚しており、その中の「遊就館」は一つの典型だ。安倍首相がそうした場所で「英霊」を参拝し、侵略戦争を発動した当時の元凶に対して、「平和」、「不戦」を叫んでも、被害国の人民は受け入れることができないし、国際社会も信じないだろう。これは平和に対する冒とくと言わざるを得ない。

安倍首相は中国、韓国の人々の気持ちを傷つけるつもりはないと強調し、敬意を持って日中友好協力関係を発展させたいと願い、中国の指導者に直接説明する機会を得ることを希望していると述べた。日本の指導者が侵略戦争を美化する靖国神社を参拝したことで、国際社会と中国民衆が見たものは当時の加害者に対する「敬意」と「尊崇」であり、想起したものは日本軍国主義が発動した侵略戦争によって中国人民とアジアの隣国にもたらされた甚大な災難である。歴史を鑑としなければ、未来を志向できず、中日関係も正しい発展の方向を堅持することはできない。

日本の指導者が靖国神社を参拝することは侵略戦争に対する日本政府の認識と中日関係の政治基盤にかかわり、日本とアジアの隣国や国際社会との関係の政治基盤にかかわるもので、決して日本の内政などではなく、さらには個人の問題などではない。靖国神社問題で、われわれは日本の政権担当者がこの問題の本質を認識したうえで、日本国内の平和勢力の声により一層耳を傾け、アジアの隣国と国際社会の正義の声を重視し、歴史の教訓を深くくみ取り、平和的発展を真に堅持し、隣国と真に平和共存することを希望する。

2013年12月30日、日本『毎日新聞』

危険な極端崇拜

駐米中国大使 崔天凱

最近、日本首相安倍晋三は靖国神社を強硬に参拝し、中国などいろいろなアジア諸国の国民感情を深く傷つけた。安倍の参拝行為は象徵意義を持っているのみならず、彼の日本将来の発展方向につきの思想も根本からばぐられた。安倍は東アジアで相互信頼、尊重と平等な雰囲気を作心から作かどうかを反映した。

靖国神社では、第二次世界大戦後遠東国際軍事法廷において判決されたA級戦争犯罪者を14名祀っている。その中で、真珠湾事件を起こし数百万人の死亡が出した太平洋戦争を挑発した日本前首相東条英机を含め、約30万人も殺害した南京殺戮の日本指導官も含む。これは第二次世界大戦期間、日本の大きな罪のほんの一部である。

安倍の参拝行為は日本の戦争犯罪を一貫して否む行為と分けられない。安倍は日本憲法を修正することを進みつづく、自衛隊を対外軍事力を持っているの正規軍隊に改造。彼の参拝は憲法修正の意図に質疑を惹き起す事。このような攻撃な姿勢はローカルの安全と経済繁栄の危険な脅威になる。日本は戦争犯罪を認めて、過ちを徹底的に改めることができるなら、全世界で経済活力一の地区のために、平和と安全の基盤を作ることができる。

日本は侵略戦争を不反省するの歴史観的な根源は靖国神社である。戦争亡者を祀るために、日本は19世紀に靖国神社を建てた。第二次世界大戦期間、靖国神社は日本が軍国主義と殖民統治を展開する精神的な工具であり、極端参拝された軍国主義の象徴になった。靖国神社にの「遊就館」は第二次世界大戦の歴史を故意に歪曲する。例えば、日本がアジア諸国を西方殖民統治から解放することを宣揚し、アメリカは日本で犯罪行為を記録した等を宣言した。

日本政府が靖国神社に対する姿勢は軍国主義の残された害毒と戦争犯罪行為に対するの検証であり。首相として、安倍の参拝は日本国内外にも悪い影響を与え。これは絶対に彼の個人的な行為と解釈するわけにはいけない。

私は2007年から2009年にかけて中国の駐日大使を勤め、日本と隣国関係の紆余曲折を目撃者として証明する。この前、日本首相の小泉純一郎が靖国神社を参拝した挙句、中日友好交流も厳しくなった。安倍は小泉内閣の官房長官を担任し、ひとたび参拝の悪影響に気づいたようである。安倍は前回首相を担任する期間、参拝しなかった。その故、隣国との関係を改善するために一歩歩き出した。残念なことに、その後安倍はその時の決定を「後悔の至り」と認発言し、最近の行為は隣国と対話する扉を閉めてしまった。

安倍が二回目首相を担任して以来の振る舞いは、日本が世界平和を促進するのに貢献すると声明した事と逆方向へ進め。安倍内閣は日本軍事設備を加速建設するのを謀り、アメリカにより起草した平和憲法を改ざんする事を企んでいる。このような動きは警戒する必要がある。安倍本人も例えば「侵略定義未定」を揚言し、「従軍慰安婦」は脅迫される証拠がない等一連の間違う言論を発表し、靖国神社を参拝する事は安倍の行為の思想基礎と不正な歴史観をはっきりと体現し、日本は隣国の信頼を得ることができない。

安倍は憲法を改正することを通じて自衛隊を正規軍隊に変更する、日本を「正常国家」になる事と希望する。まさか安倍から見れば、戦後日本の歩んでいる和平道が不正常である事でしょうか。靖国神社の参拝は日本隣国及ぶ全世界の大挑戦である。日本軍国主義は中国国民をはじめ、アメリカを含んだ多くの各国民に酷い災難を齎した。当時がアメリカ迫られて頑固の敵と激しい島争奪戦を行った。

疑問もなく、日本人民も軍国主義の被害者であり、今の世代の人は靖国神社で祀っている戦争犯罪者の罪の責任をとる事ができない。安倍首相と支持者は靖国神社を参拝する事が戦争責任を自分と日本人民に身にした。

日本は軍国主義を捨て、地域国家と東亜合作を成立つの美しい未来を作る事ができる。地域の持久平和と繁盛を確保するのは地域国家や人民の利益と

最も合致する。我々が自分の力で懸命に励み、本地域を世界経済増加のエンジンにさせ。けれども、安倍は我々の努力を破壊している。日本指導者は隣国の声を聞き、挑発言行を放棄することさえできれば、中国やアメリカ、韓国等と協力し、アジア繁盛と安定に力を入れ続けられ、その以外の選択道がありません。

2014年1月10日、アメリカ『ワシントンポスト』

歴史正視を拒否する日本は必ずアジア及び世界 平和を脅かす

駐ロシア中国大使 李輝

去年 12 月 26 日、日本首相安倍晋三が天下の大悪をあえて犯し、憚ることなく 14 名第二次世界大戦 A 級戦犯を祀る靖国神社が参拝し、公然と国際大儀を挑発し、勝手に人類良識を踏みにじった。彼の歴史と正義の時流に逆行する行為は中ロシアを含める隣国と国際社会からの日本将来発展方向に対する高度警戒と強烈心配を引き起こす。

日本指導者が靖国神社を参拝するのはいわゆる日本内政問題と個人問題ということではなく、中日、韓日関係問題だけではなく、日本指導者が軍国主義の対外侵略と殖民統治を正確に認識、深く反省できるかどうか、日本が『国連憲章』の宗旨と原則を守れ、平和な道を選択できるかどうかの根本的な方向問題、侵略と反侵略、正義と邪悪、光明と暗黒などの原則的な是と非の問題、日本が隣国と国際社会との関係の政治基盤に関わる重大な原則問題の本質である。

安倍は政権をとって以来の一年、切れもなく「侵略未定論」を吹聴し続け、日本軍国主義侵略と殖民歴史を美化し、日本の安全防備政策を大きく調整し、軍事出費を増加し、軍備を拡充し、日本平和憲法を否定し、政治右翼化を加速している。それから、釣魚島問題に関する「購島」という滑稽なこと、軍事安全領域でいわゆる「中国脅威」を煽てること、アジア太平洋周辺国を唆すこと、地域での緊張した情勢を製造すること、軍国主義「復活」のために口実をさがすことをしている。安倍政府の行為は日本を十分危険な方向へ導き、アジア最大な「面倒製造者」になった。

中ロシアが世界反ファシズム戦争戦勝国と国連安全保障理事会常任理事国である、両国も国際正義と戦後国際秩序を守る共通認識と責任がある。2010 年 9 月 28 日、中ロシア両国指導者は第二次世界大戦問題について声明を発表した。声明には、大戦期間中ロシア両国国民がファシズムと軍国主義の進撃を受け、最も残酷な試練に耐え、国民が夥しい損害を蒙り、侵略者に抵抗、反撃

の重任を引き受け。中ロシアは大戦歴史を改竄、ナチスと軍国主義分子を美化する人及び共犯者、解放者の顔に泥を塗る企みする人について、断固と非難すると書いてある。2014年新年前の夜、中ロシア両国外交部長が電話の中で、安倍が靖国神社を参拝することに対し意見を交流し、ラフロフ外交部長は、靖国神社に関する問題で、ロシアの立場と中国の立場完全に一致し、ロシア側は安倍が靖国神社を参拝する事を反対し、安倍の行為がアジア隣国に対し挑発だと考え、日本が過去を客観的に直面するつもりではなく、軍国主義の対外侵略と殖民統治の事を漂白する事が謀る表明した。

最近、アジアより第二次世界大戦を素材として撮影した『スターリングラード』が上映され、ロシアにで好評満々、チケットがなかなか手に入れない状態であったし、中国にも大変な人気で、強烈な反響であった。映画は観衆を第二次大戦の血と情、火と涙に連れ戻し、再び戦争の残酷と無情を見せて。スターリングラード戦役は第二次世界大戦の転換点で、ロシア人民が世界反ファシズム戦争のために大きな犠牲と貢献をした事を表せた。この映画が中ロシア両国に大人気であることは両国人民が正義を高く高揚し、不正を深く憎む道徳観念と歴史を尊重し、大戦の勝利成果を断固として守ることを証明した事は私が認識している。

皆がご承知のように、中国とソ連(ロシア)は第二次世界大戦の同盟国である。両国軍民は共同して日本ファシズムに抵抗し、戦争で大きな犠牲の代償を払った。当年、ソ連(ロシア)は空軍ボランティアチームを派遣して中国の空軍と協力して日本と作戦し、中国東北に戦士を派遣し、ソ連の将士は戦場に血を流す、中国に命も差し上げ、中国の抗戦勝利に大きな貢献をした。現在、中国東北地区などにソ連仕官と兵士の亡骸が丁重に埋葬されている烈士陵墓園は保護し、修繕されている。中国政府と人民は助けてくれたソ連(ロシア)の軍民を永遠に銘記し感謝している。大きな罪を犯しても今でも反省していない日本軍国主義

言行に対して絶対に納得できない、容赦しない事。

アジア太平洋地域は全世界経済発展の牽引車として、世界経済増長に大切な力を貢献した。アジア太平洋地域平和と安定を守るのは中ロシアにも、アジアにも、世界にも有利である。中ロシアともアジア太平洋事務の熱中の参加者であり、この地域の安定と発展を守る重要な力である。歴史の教訓が汲み取られるべきであり、中ロシア両国は国際社会と共に警戒を強め、第二次世界大戦成果を否定する謀りと戦後国際秩序を挑発する言行をきっぱり反対と非難する事、共に『国連憲章』の宗旨と原則を防衛し、地域安定と世界平和を守る責任がある。

中国人民の尊厳を踏みにじるな。第二次世界大戦勝利のために血や命を払った中ロシア両国の人民を侮るな。日本が侵略歴史を否定し、軍国主義を復活する企みは必ず全世界の人民に唾棄される。

2014年1月10日、ロシア国際文伝通信社

侵略歴史の反省を反抗する日本は必ず世界平和への重大な脅威になる

駐イギリス中国大使 劉曉明

小説『ハリーポッター』中の人物伏地魔が自分の魂を七つの「魂器」に別々隠し、伏地魔を消滅する唯一の方法は七つの「魂器」を全部打ち壊す。もし軍国主義を日本の伏地魔としたら、靖国神社は疑問なくこの国の最も暗黒の魂を隠すの「魂器」である。

先週、日本首相安倍晋三が天下の大悪をあえて犯し、憚ることなく14名第二次世界大戦A級戦犯を祀る靖国神社が参拝した。この事件は迅速に中国や韓国などアジアの国家と国際社会に厳しく非難された。

アジアの各国民が存知したとおり、靖国神社は100年間ぐらいに一貫的日本軍国主義により対外侵略戦争を起こす精神的な道具と象徴である、今までアジア被害国人民に大きな罪を犯した第二次世界大戦A級戦争犯罪者を祀り。日本指導者が靖国神社を参拝する行為は日本内政問題と個人問題ではなく、中日、韓日だけの関係問題でもなく、日本指導者が軍国主義の対外侵略と殖民統治を正確に認識、深く反省するかどうかの本質である、日本が『国連憲章』の宗旨と原則を守れ、平和な道でを選択するかどうかという根本的な問題、侵略と反侵略、正義と邪悪、光明と暗黒などの原則的な是と非の問題である。残念ながら、安倍はもう一度自分の行動で軍国主義がまだ日本に残っている事を証明した。

これは孤立している事件ではなく。安倍が政権を取ってからの一年、道義、民主、平和、対話など口ばかりであった、実際の行動は歴史の問題に本気な反省と心かけて謝罪が欠けてる一方で、かえって一層酷くなり、出鱈目な考えで第二次世界大戦の成果を否定し、戦後アジア太平洋国際秩序を変えようとし、政治右翼化の道で遠く歩いていった。ひとつは「侵略未定論」を吹聴し、日本軍国侵略史と殖民統治を美化する。安倍は公然に「731」と書いてある戦機に登り、全世界の人民が知っているように、「731」とは中国を侵略する高い悪名が持っている日本細菌軍隊の番号である。ひとつは、日本平和憲法を否定し、政治